

平成29年6月28日(水)

第2回主題研究資料

I 研究計画の変更について

学校支援訪問が10月下旬に決まった関係で、1回目の主題研究で提案した研究計画等を以下のように変更しました。

研究計画(6月28日版)

(1) 一人一研究を軸とした授業実践と改善

- ① 5月下旬～6月上旬
 - 各自の研究テーマ、研究内容の設定と学園生の実態把握…様式1(別紙参照)にまとめて、6月9日(金)までに研究主任まで提出
- ② 6月中旬～下旬
 - 研究テーマ(教科等)ごとに、研究グループの決定…研究部でグルーピング
 - グループごとに、各自の研究テーマや内容についての話し合い(助言等)…6月28日(水)の主題研究(本日)
- ③ 7月中旬～12月
 - 研究テーマに沿った、日々の授業実践
 - グループごとに、中間報告会の実施(夏季休業中)
※中間報告会の内容については後日提案
 - 研究授業と授業研究会の実施(全員、10～12月)
※詳しくは、別紙2「研究授業と授業研究会に向けて」を参照

学校支援訪問(10月下旬)に向けて

- ・10月上旬までに指導案の作成
- ・10月上～中旬に代表授業者の指導案検討
- グループから1名ずつ、3名の代表授業者と全員の参観授業
※詳しくは、別紙1「学校支援訪問に向けて」を参照

- ④ 1月～2月
 - 各自で研究のまとめの作成 ※様式は後日提案
 - 全体での研究報告会の実施
 - 研究紀要作成

(2) 美郷科・きたごう科の実践と改善、3年間のまとめ

- ① 4月～12月
 - 美郷科・きたごう科における日々の授業実践(学級担任)…「キャリア教育ロードマップ」を活用しながら、「自立心・進路意識・生き方追求」を高める手立ての工夫と検証、改善
 - 各自で実践のまとめの作成
※様式は後日提案(A4の半分程度の予定)
 - 実践報告会の実施
- ② 6月
 - 「自立心・進路意識・生き方追求」について、学園生への意識アンケート(研究主任)
- ③ 1～2月
 - 「自立心・進路意識・生き方追求」について、学園生と職員への意識アンケート(研究主任)
 - 3年間の取組の成果と課題の整理
 - 研究紀要作成
 - 次年度以降の美郷科・きたごう科の準備

【別紙 1】

学校支援訪問に向けて（6月28日版）

1 学校支援訪問日について

- 10月下旬で実施する予定

2 授業と事後研究会について

- 基本的に全員指導案を作成し、授業を行う。
- 各研究グループから代表者1名が、代表授業を行う。（計3名の予定）
- 授業後には、指導主事から、授業者一人一人に指導助言をしていただく。（指導主事と授業者の一对一で、一人15分程度）
主に「本時の主張」（※次ページ以降の指導案形式で説明）の有効性、本校「学力向上ジャスト3」の視点において指導助言をしていただく。
- 代表授業については、各グループで授業研究会を行う。（代表授業者については、2学期における研究授業と授業研究会を実施したことになる。）

3 指導案作成について

- 10月上旬までに以下のことを済ませておく必要がある。詳しい日程については学校支援訪問日の決定後、研究主任から提案する。

- ① 指導案の作成
- ② 指導案の起案
- ③ 返却後の加筆・修正
- ④ 最終版の指導案を研究主任まで提出

- 指導案は、1回目の主題研究で提案した様式で作成する。

【別紙 2】

研究授業と授業研究会に向けて（6月28日版）

1 実施時期 10～12月

2 実施の流れ

- 9月中に、研究主任による研究授業と授業研究会（全員参加）を行い、授業研究会の進め方等の例を示す。
- 11月を「研究授業期間」として設定し、基本的に全員が研究授業を行う。（学校支援訪問での代表授業と兼ねる。）

研究授業は、基本的に同じグループの職員で、1単位時間全てを参観する。授業日時は、グループ内の職員で連絡調整して決定する。研究主任が取りまとめて、日案等で知らせる。グループ外の職員が参観してもよい。

1グループが3～4人なので、この1ヶ月で2～3時間の自習が発生することになる。（学校支援訪問での代表授業者分を除けば、1時間減る。）専科等を利用して、自習が発生しないようにグループ内で授業日を設定できることが望ましい。無理な場合は、自習で対応する。
- 「研究授業期間」終了後、11月29日（水）の主題研究（予定）において、グループ内で順番に授業研究会を実施する。
- 授業研究会での意見を基にして、日々の授業において更なる改善を行っていく。

※ 「研究授業で実施したい単元が11月ではない」等で、11月での研究授業が難しい場合は、研究主任までご相談ください。

3 研究授業について

- 正式な指導案は作成しない。簡略版を作成し、授業に臨む。1回目の主題研究で提案した様式で作成する。
- 授業者の「本時の主張」や、本校「学力向上ジャスト3」に沿って参観できるよう、参観用シートを研究部で作成する。シートに沿って参観する。

4 授業研究会について

- 各自が記述した参観用シートを基にして、「本時の主張」の有効性についての検証や、本校「学力向上ジャスト3」がどうだったか等について意見交換を行う。

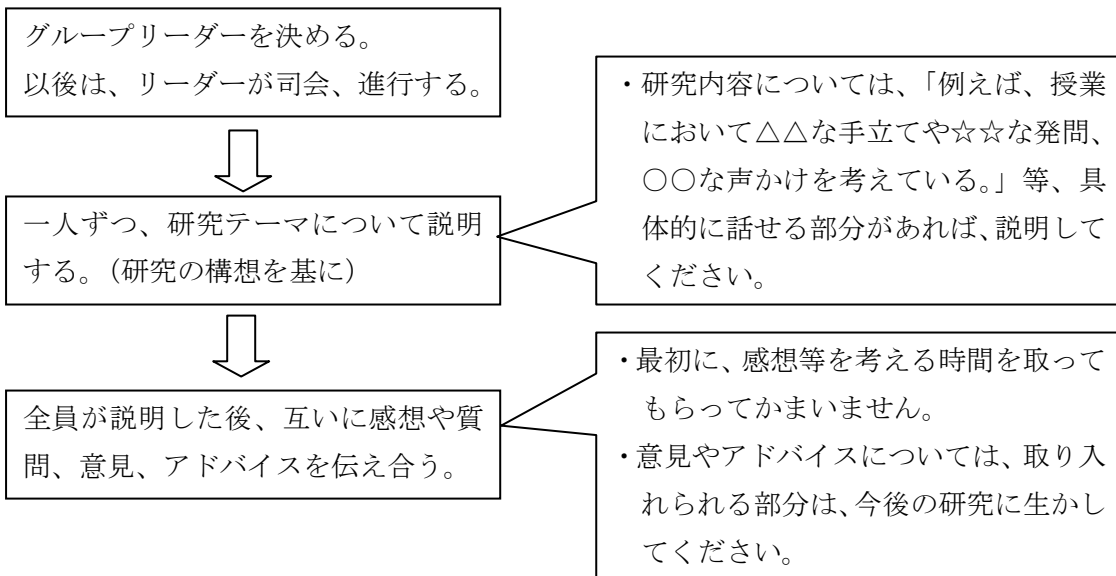
II グループでの、各自の研究テーマや内容についての協議

1 研究グループ編成

国語・英語グループ 加治屋（国語） 真方（国語） 井上敬（英語）	国語・特支グループ 岡本（国語） 井上愛（国語） 黒木悠（国語・学級経営） 日野（特別支援）	社会・理科グループ 頼（社会） 時松（社会） 原口亜（理科） 宮本教頭（理科）
算数・数学グループ 松山（数学） 成合（算数） 東長（算数） 齊藤（算数）	体育・音楽グループ 原口朗（体育） 黒木貴（体育） 米澤（音楽）	食育・保健指導・ボランティア教育グループ 黒木亜（食育） 高瀬（保健指導） 河野（保健指導） 宇都宮教頭（ボランティア教育）

2 各自の研究テーマや内容についての協議

以下の流れで協議し、グループごとに終了、解散してください。



メモ